

## —病院理念— 「愛し愛される病院」

### —基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

### 【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

## 新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。

杉並リハビリテーション病院が101全ベッド回復期リハビリテーション病棟になり、七度目のお正月を迎えました。

回復期リハビリテーション病棟は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血などの脳血管疾患や大腿骨頸部骨折などの患者さまに対して、日常生活動作能力の向上などを目的にリハビリテーションを集中して行い、自宅復帰・社会復帰を支援するための病棟です。

より充実した、皆様に満足いただける病院を目指して、第三者評価である日本病院機能評価機構による更新審査を昨年7月に受けました。病院としての基本であります機能別リハビリテーション機能評価はもとより、今回新たに付加機能としての回復期リハビリテーション機能につきましても認定評価をいただきました。

入院された患者さまが安全に安心して自宅での生活に入られますよう、職員一同結束し取り組みます。

「愛し愛される病院」の理念の下、職員一同、熱い思いで患者さまのリハビリテーションに取り組みます。患者さま、ご家族の皆様ならびに地域から信頼され、地域に貢献する魅力ある病院として更なる発展に努めてまいります。

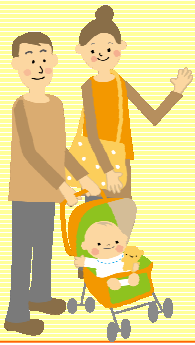


# 特報! 東京ワークライフバランス認定企業、決定!!

職場でワークライフバランス（仕事と生活の調和）を考え、仕事と家庭を両立しやすい制度を整えることは、家庭での生活を充実させることにつながり、仕事への意欲を向上させます。当院は女性職員が多い職場です。また、平均年齢が若いこともあり結婚・出産される職員が増えております。このようなことからワークライフバランスの取組は「仕事と育児の両立推進」を中心に行っております。

具体的には、職員専用保育室の設置があります。地域の認可保育園に入るのが極めて難しい状況の中で、安心できる預け先が確保できることは復職に向けたセーフティーネットになっております。また 365 日開室し、一時保育も利用出来ますので、活用の範囲も広がっています。さらに産休前の職員へ妊娠～就学前までの各ライフステージでの公的支援制度を利用するようにリーフレットの配布と説明を行っております。

これ以外の両立支援制度を含めて、優れた取組みを実施した事業所として東京都から平成 26 年度「東京ワークライフバランス認定企業（仕事と育児の両立推進部門）」に当院が選定されました。



『ワークライフバランスフェスタ東京 2015』に  
認定企業として参加決定!

開催日時：平成 27 年 1 月 29 日（木）

会 場：東京国際フォーラム展示ホール 2



東京ワークライフバランス  
認定企業  
総務課・たがみ ひでみね  
田上 秀峰

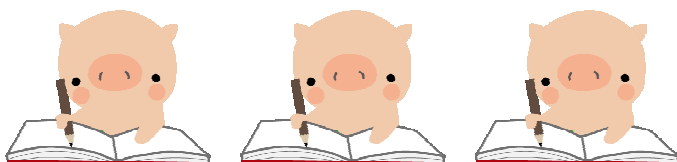
## Your Smile, Our Happiness!! ~リハビリテーション科紹介~

今回はリハビリテーション科で行われている勉強会についてお伝えしたいと思います。

勉強会は大きく分けて院内と院外で開催されるものがあります。

院外では近隣の杏林大学病院や武蔵野日本赤十字病院など急性期の病院のスタッフと症例報告会を実施し、情報交換を行うなどして積極的な交流を図っております。また、セラピストとしての専門性を高めるために技術系講習会（関節運動学や摂食嚥下、認知運動療法、活動分析等々）や学会への参加も毎月行っており、その情報を科内で共有できるようにその都度伝達講習を院内で開催しております。

テーマを決めた定期勉強会の他に最新のリハビリ機器の紹介も行っています。当院では歩行練習を安全かつ効果的に実施するアンウェイシステムをいち早く導入し治療実績に繋げています。今後は歩行の治療前後での変化を患者様へより分かりやすくお伝えするために映像による動作分析システムを導入予定です。今後は職員だけではなく、障害予防や健康増進の観点から地域の皆様へ還元できる勉強会の開催も取り組んでいきたいと思っております。



リハビリテーション科 主任  
理学療法士 ひらま さちえ  
平間 幸恵

# 地域住民対象の健康教室「杉並リハの日」大好評！

昨年 11 月 29 日に開催された地域住民対象の健康教室『杉並リハの日』は、あいにくの雨模様にも関わらず多くの皆さまにお集まりいただき大好評のうちに幕をとしました。

平成 20 年から開催しているこのイベントですが、今回は“新国民健康病”とも言われる「ロコモティブシンドローム」について、参加者の皆さまの現状チェック、当院リハビリ専門医である山崎裕功医師からの講演『健康寿命を延ばす～元気で老いるために～』、さらにロコモティブシンドローム予防のための自宅でもできる簡単な体操の実演指導の3本立てでの開催となりました。

現状チェックでは、①片足立ち ②継ぎ足立ち ③360° 回転 の3項目でバランスチェックを実施しました。皆さま楽しみながらも真剣に取り組まれ、ほとんどの方が問題なく、満点の方もたくさんいらっしゃいました。



当院発地域住民の方々へ健康をお届けする『杉並リハの日』。アンケートにおいても「満足」とのお声をたくさんいただき非常に充実したイベントを提供することが出来ました。今後も地域に信頼され貢献できる情報を発信するイベントを企画してまいります。

リハビリテーション科 主任  
理学療法士 成 美央子

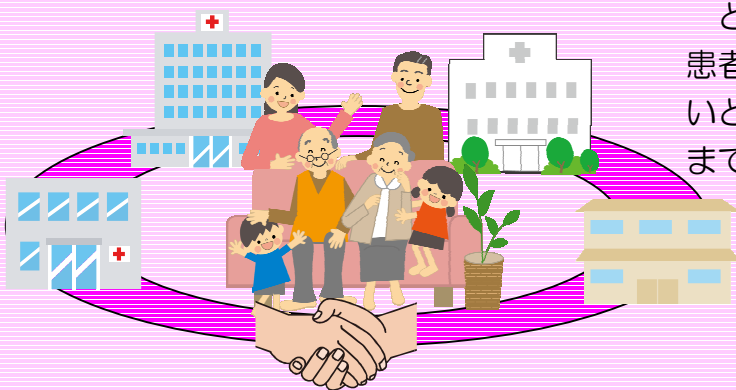
## 切れ目のない医療の提供へ…「地域連携パス」利用進む

医療機関ごとの切れ目のない医療の提供において、地域連携パスの使用がスタンダードになりつつあります。当院でも平成 20 年から脳卒中頸部骨折の地域連携パスを導入しており、患者様受け入れの際、急性期病院での治療情報を把握するのに役立っております。

脳卒中では北多摩南部脳卒中地域連携パス・東京都脳卒中地域連携パス・区西南部脳卒中地域連携パスの 3 種類、頸部骨折では多摩整形外科大腿骨頸部骨折地域連携パス・PRCF(東京警察病院)・荻窪病院大腿骨頸部骨折地域連携パスの 3 種類、計 6 種類のパスを採用しております。

急性期-回復期-維持期・在宅・と、地域の医療機関の間で協力関係を作り、より効率的で安全な医療・介護体制を構築するのがパスの役目であり、患者様にとって入院期間全体(パスによっては退院後の生活も)のスケジュールが把握できることが一番のメリットと考えます。

とは言え、パスの有無に関わらず回復期該当の患者様がいらっしゃれば積極的にお受け入れしたいと考えております。入院のご相談は地域連携室までどうぞお気軽にご相談ください。



地域連携室 主任

まるやま みなこ  
丸山 美菜子

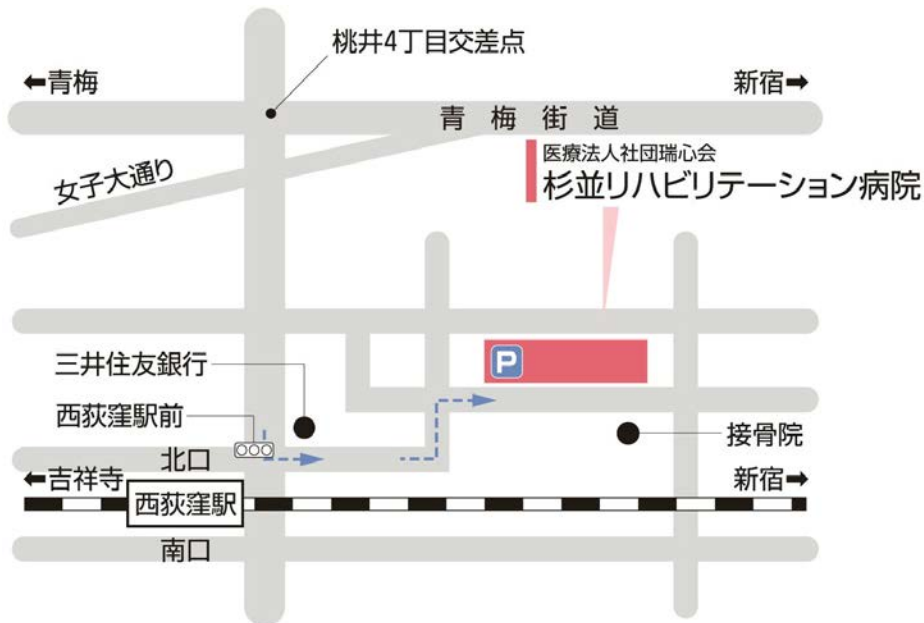
～当院の現況～

平成 26 年 10 月      平成 26 年 11 月      平成 26 年 12 月

稼働率	90.9%	95.2%	99.0%
入院延べ患者	2,845人	2,885人	3,101人
在宅復帰率（直近3ヶ月）	.....		84.6%
重症患者割合（直近6ヶ月）	.....		30.7%
重症患者回復病棟改善割合（直近6ヶ月）	.....		34.9%

- \* 重症患者 ..... 日常生活機能評価で10点以上の新規入院患者の割合
- \* 重症患者回復病棟改善 ..... 重症患者のうち4点以上の者が改善している割合

交通のご案内



- JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分
- 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km  
西荻窪駅前信号を左（一方通行）

病院概要

開院	昭和43年10月
理事長	中村 康彦
院長	門脇 親房
病床数	101床（4床室・個室）
診療科目	内科・リハビリテーション科
診療時間	毎週 月・火・水・木・金 9:00～12:30
発行責任者	門脇 親房
発行	杉並リハビリテーション病院 総務課

医療法人社団 瑞心会  
杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5  
 TEL.03-3396-3181 (代) FAX.03-3396-3186 (代)  
<http://suginami-reha-tokyo.jp/>